

第4章 第2次計画の基本的な考え方

1 計画の基本理念	P59
2 計画の指針	P60
3 計画の基本体系	P61
4 計画の数値目標	P62

国や県の方針や状況、これまでの本市の取組や成果などの状況を考慮し、本計画の方向性を以下のように定めます。

1 計画の基本理念

本計画の実施にあたっては、第1次計画の「たからづか食育推進計画」で定めた以下の基本理念を踏襲し、食育の実践に向け、さらなる推進を図ることとします。

北部地域等の豊かな自然を活かし、大人も子どもも様々な経験を通じて「食に関する知識」と「食を選択する力」を習得することにより、市民とともに「食と自然の恵み」を大切にする、元気な宝塚を目指します。

「次世代へつなごう！正しい食習慣のバトン！」を合言葉に、大人は自分のためだけでなく、子どもたちのために、家族のために、地域のために、そして次世代のために、自分に何ができるかを考え、正しい食習慣を実践する手本とならなければならないと自覚し、「正しい食習慣を実践できる大人」に、また子どもたちは大人を手本に様々な経験を重ね、「食の大切さのわかる大人」になることを市民の目指す姿とします。

次世代へつなごう！ 正しい食習慣のバトン！



大人は子どもたちへ・・・ 大人になったらまた子どもたちへ・・・
正しい食習慣のバトンを次の世代へバトンタッチ！！

2 計画の指針

現在の「食」の現状と課題を踏まえ、基本理念のもと食育を推進していくための指針は次のとおりとします。

(1) 子どもの頃から増やしていく「食」とのふれあい

～毎日の「食」が豊かな心と身体を育てます～

「この作物はどうやってできるの？どんな栄養があるの？」「旬はいつだろう？」
「この料理はどうやって作るの？」「環境に優しい工夫はされているのかなあ？」等、
子どもの頃から「食」に関心を持つことが大切です。

さらには単に知識だけを深めるのではなく、実際に自然に触れ、作物を育て、料理に挑戦する等、自分たちが口にする食べものが、食卓に並ぶまでの過程について
様々な体験をすることで、自らの「食」について考える力（技）を身につけましょう。

(2) 伝えていく！食生活の知恵や経験

～まずは大人が肝心！ 子どもたちの見本です！～

子どもたちへ伝えていくためには、まず「子どもに正しい食習慣を身につけさせる責任がある」という自覚を持ち、自分自身が実践できるよう努力しましょう。

そして、食生活の知恵や経験を子どもたちに伝えていきましょう。

(3) 「食」で守ろう・・・自然の恵み

人が生きていくために欠かせない「食」は、豊かな自然がもたらす多くの命の恩恵を受けています。

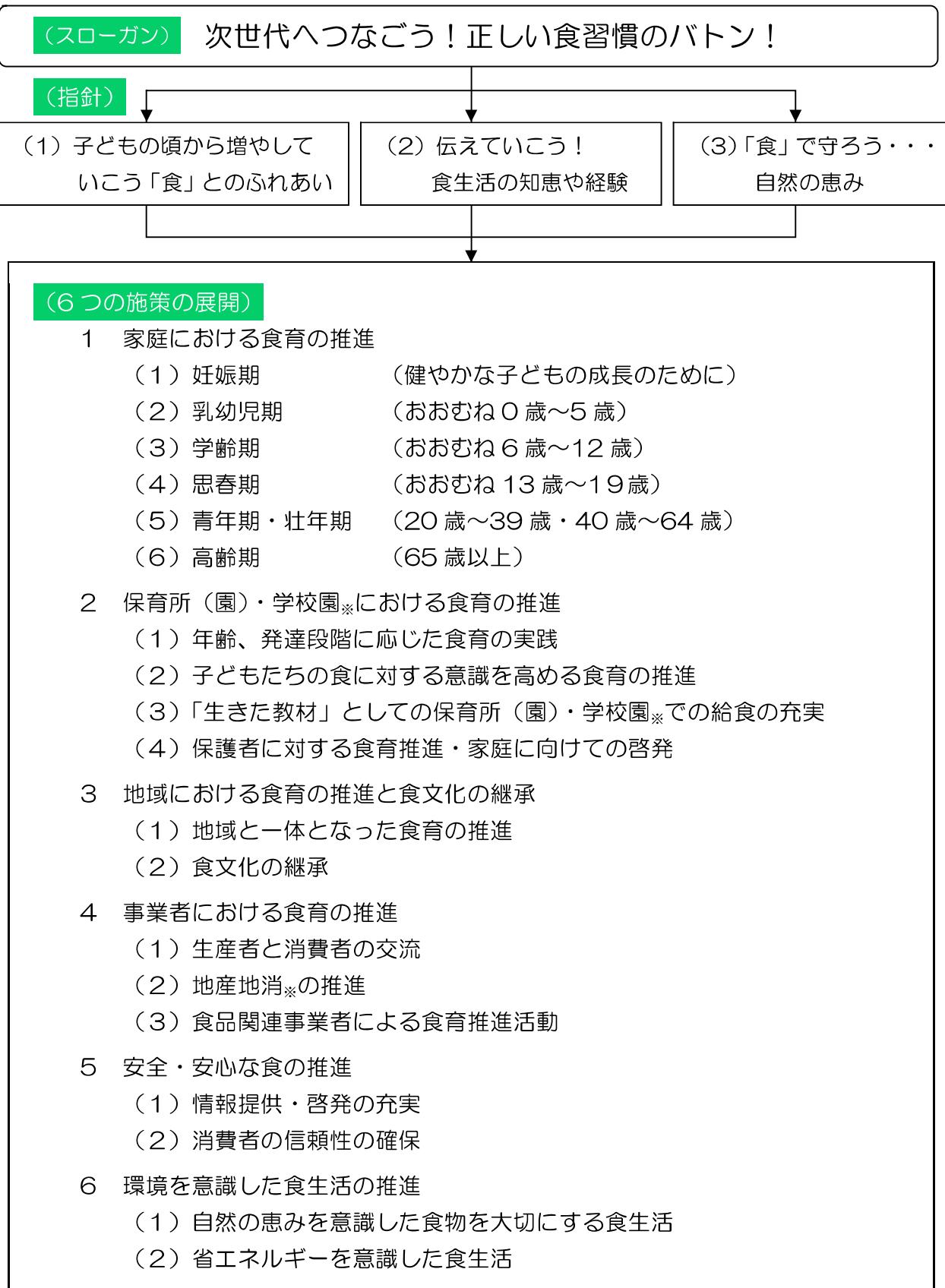
本市の約3分の2の面積を占める北部地域には、美しい田園風景が広がり、そこでは、「新鮮な野菜やお米」が採れ、澄んだ水が流れる川のほとりには、ほたるが生息し、夏にはせみの鳴き声が響き渡り、秋にはトンボが飛び回る自然豊かな環境が残っています。

今後も命の恩恵を受け続けていくためには、これらの自然を後世に残していくことが大切です。

市民が誇れるこの自然や田園環境をみんなで守る取組をしましょう。

3 計画の基本体系

計画の指針を踏まえ、6つの柱を基本体系に取り込み推進します。



4 計画の数値目標

基本理念の実現に向け、成果や達成度を客観的な指標により把握するため、主要な項目について、数値目標を設定します。

項目	目標指標	対象	現状値* H27年度	目標値 H34年度
食育に関心を持つう	食育に関心を持つ人の割合	成人	62.3%	69%
朝食を食べよう	朝食を欠食する人の割合	3~5歳児	3.5%	3%
		小学5年生	3.4%	3%
		中学3年生	7.8%	7%
		20~39歳	28.5%	26%
1日3食規則正しく食べよう	1日3食規則正しく食べている人の割合	20~39歳	63.8%	70%
家庭で「食」を話題にしよう	家庭で「食」(食べ物)について会話をする人の割合	3~5歳児	56.3%	62%
		小学5年生	65.6%	72%
		中学3年生	56.5%	62%
食事のお手伝いをしよう	食事の準備や後片付けなどのお手伝いをする人の割合	3~5歳児	31.3%	34%
		小学5年生	38.9%	43%
		中学3年生	28.7%	32%
家族そろって朝食を食べよう	朝食を家族そろって食べる人の割合	3~5歳児	22.6%	25%
		小学5年生	21.8%	24%
		中学3年生	14.4%	16%
家族そろって夕食を食べよう	夕食を家族そろって食べる人の割合	3~5歳児	23.6%	26%
		小学5年生	25.7%	28%
		中学3年生	25.4%	28%
家族や友人と楽しく食事をしよう	家族や友人と食卓を囲む機会のある人の割合	65歳以上	68.6%	76%
食事のあいさつをしよう	食事のあいさつ(いただきます・ごちそうさま)ができる人の割合	3~5歳児	82.6%	91%
		小学5年生	78.5%	86%
		中学3年生	71.3%	78%
行事食を家族で作ったり食べたりしよう	一緒に行事にちなんだ伝統料理(行事食)を作ったり食べたりする人の割合	3~5歳児	42.9%	47%
		小学5年生	38.9%	43%
		中学3年生	40.2%	44%
食事のマナーを身につけよう	食に関するマナーを知っている人の割合	3~5歳児	36.7%	40%
		小学5年生	51.7%	57%
		中学3年生	53.7%	59%
		成人	40.0%	60%
農業振興施設「西谷夢市場」へ行ってみよう	農業振興施設(農産物直売所) 「西谷夢市場」の来場者数(年間)	市民等	60,438人 (H26年度実績)	65,000人
地産地消*を意識しよう	旬のものや、国産品、地元(兵庫県内)で生産された食材を優先して購入する人の割合	成人	80.4%	88%
食の安全に関心を持つう	食の安全に関心のある人の割合	成人	85.1%	94%
食品表示を意識しよう	食品を購入する際、食品表示をほとんど見ていない人の割合	成人	8.8%	8%

*現状値の出典：平成27年度(2015年度)食育に関するアンケート調査結果
(西谷夢市場の来場者数を除く)